



## 放射性物質検査の結果について

当センターでは、安全・安心な学校給食用物資の供給を図るため、平成23年10月から国が定めた基準に準じて、放射性物質検査を実施しています。令和元年7月には、新規取扱い商品のうち、当センターの基準に則した該当商品1品目について外部検査機関に委託し検査を実施しました。



放射性物質とは放射能をもつ物質の総称であり、放射能は放射線を出す活性力で、その強さを表す単位はベクレル(Bq)で示されます。今回の検査商品は、厚生労働省が分類した食品群の区分の「一般食品」に属し、その基準値は100 Bq/kgです。

結果は「基準値以下」でした。

今後とも、計画的、適切に検査を行い安全・安心な学校給食用物資の供給に努めていきます。

## 令和元年度 食品の放射性物質検査結果

商品名	検査対象 原材料	原材料の 産地 (県名)	検査結果 (Bq/kg)	
			セシウム - 134	セシウム - 137
業務用純米中華めん 500g	米	岩手	< 1.0 Bq/kg	< 1.0 Bq/kg

注1 検査方法：ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析法(単位 Bq/kg(ベクレル/kg))

2 検出限界値：1.0 Bq/kg(ベクレル/kg)

3 検査対象の地域は、原子力災害対策本部から計画的な検査要請がある自治体17都県(福島県、茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、神奈川県、宮城県、岩手県、青森県、秋田県、山形県、新潟県、長野県、埼玉県、東京都、山梨県、静岡県)

4 原材料の産地(県名)はメーカーから提出された資料に基づく

### お知らせ

#### ～ 分析機器 「フーリエ変換赤外分光光度計(FT-IR)」 を導入しました ～

フーリエ変換赤外分光光度計(FT-IR)は、試料に赤外光を照射し、透過または反射した光量を測定します。そのスペクトルから分子の構造の情報を得る事ができ、物質の定性に有効です。

主に有機物が対象で、微量な試料でも分析が可能のため、兵庫県学校給食・食育支援センターで実施している異物検査における今後の活躍が期待されます。

